



“ほっと”なネットワーク

かんちゃん通信

秋空さわやか号

第 21 号

2023 年 10 月 10 日発行

身近なものを使って人形を作り、短いお話を考えて人形劇あそびをしました♪

～かんちゃんホットルーム（第 68 回：5 月）～

人形が生まれ、お話が生まれ みんなで共有できて・・・

感動・感激♡

4つのグループが互いに
パフォーマンス（即興人形劇あそび）



子どもたちとおとなのチームワーク、グループ
みんなの人形を使って短いお話を作りました。

↑ “マイクでおはなししました”（「2才だよ」）

始まる前には何もなかったところから、みなさん
の手で人形が生まれ、そして、素敵なお話が生まれ、
グループごとに集まった人と力を合わせて“作品”が
生まれ、みなさんと共有できたことに感動しました。
一人ひとりの豊かな創造、想像の力に驚きました！
ずっと見ていたかったです。とても楽しかった♪

（ワークショップのゲストティチャー

ミゲル・リマさんと浦田広美さんより）



買った物を入れるビニール袋・
ゴミ袋・毛糸・割りばし・各種
テープなど

この秋で「かんちゃんの小さな家」の活動は10年目に入ります

2014 年秋からの“あゆみ”を年表にまとめてみました（4～5 面）

(2)

私たちの居場所 春から夏

2023 年 かんちゃんホットルームより

かんちゃんホットルームは、「だれもが、安心して楽しく過ごせる居場所」として、年9回のペースで継続して開催しています。会場は、安土コミュニティセンターで、土曜日の 10:30～12:30 の時間帯です。(変更することがあります) 6面の当面の案内を見てください。気軽に参加してください♪

5月

1面からの続きです

演じるグループと
参加したみんなの
“息が通いあった
空間！” とっても
心地よかったね♪



ミゲルさんの
リードで、リラ
ックスして心
を開くエクサ
サイズから始
まりました♪

4月	お休み月
第68回 5月	身近なものを使って人形あそびをしよう♪29人 お昼:(テイクアウト) 十六雑穀米・春雨スープ
第69回 6月	ワークショップ 「ここは何色」参加者 45人 カレーライス(ホテルニューオウミ特製、近江牛生産組合の近江牛入り)
第70回 7月	アフリカを知ろう「アフリカルタ」34人 お昼:(テイクアウト)けんちん汁(レトルト)・おやつ
第71回 8月	あそび村(パート9)27人 お昼:(テイクアウト)おにぎり・かきたまスープ
会場: 安土コミュニティセンター 時間帯: 10:30～12:30	



初めて出あった人も一緒になって
人形劇を体験しました♪

即興で作ってあそんだ人形劇

“福・服”のお話を作りました♪

ある日、ある村に福の神が来る。でむかえるために、祭りをする。村の人がおどることに。

ある女の子だけうまくできない。おちこんでいると、村の人たちにはげまされ、神社に上手になるようにおいのりに行くと、(おどりの)神様が現れ、教えてもらう。

上手になって祭りへ戻ると、ちょうど福の神が来る。神も村の人と一緒に踊る。あっという間に夜になる。

神が、たくさんの福・服をおいて帰ったとさ。(あすあすさん作: 5年)



人形作るの、
楽しかった♪



ミゲルさんと
広美さんのパ
フォーマンス
に「わ～♪すご
い！」(歓声が)



ここは何色？世界のいろいろな「ことば」にふれる めり絵ゲーム

「いろをぬるのはたのしい。もじをうつすのはむずかしい。
しらべるのはたのしい。カレーはあついけどおいしい。
ゼリーはあまい。ぜんぶたのしかった。ともだちができたよ。」



「アフリカのことを知れました。色をぬって、絵ができて楽しかったです。
ヒンディー語がむずかしかったです。お昼のカレー、おいしかったです。」

「ぬっているとき、きいろぱっかりでびっくりしました。さいしょ、きりんとおもいました。」

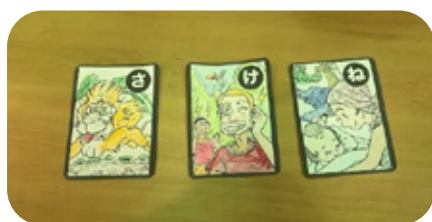


世界のさまざまな言語で書かれた色の名前を、多言語の色ポスター（辞典）を見ながら・・・♪ 彦根市国際協会の皆さんにファシリテートをお願いしました。ありがとうございました！



「アフリカルタ」夏のかるた de 交流会

国際協力推進員：JICA滋賀の森川真秀さん（大津市）に世界のお話や、「アフリカルタ」の紹介と「夏のカルタ交流会」のファシリテートをお願いしました。「かるたで楽しく遊びながら、アフリカをより身近に感じてもらえたらと思っています」と、カルタを作った方々の思いを伝えられました。



絵ふだは、「めり絵」になっています。さっそく色鉛筆で、カラフルなカードにできあがりしました♪



参加者の感想より（おとな）
◇アフリカのこと、カルタを通して学びながら、子どももおとなも盛り上がっていました。
◇携帯が普及していることを知りました。戦争のこと、子どもの兵士のことを知ってショックでした。



8月、夏休み中に開催しました「あそび村」の様子は、次号でお伝えします。





この秋から「かんちゃんの小さな家」は10年目に入ります

「利用者さんのニーズを受けとめ行動することで、次第に“道”になってきました♡」

ふり返って年表にしたよ♪ 2014年秋からの“あゆみ”

始める

近所の親子交流から出発、そこに多文化共生・地域交流という軸が



ブラジルのパステウ
とガラナジュース

2014年	秋	“かんちゃんの小さな家”誕生 ・SSW研修会(子ども支援・相談活動)を開催(11月) (「スクールソーシャルワーク研究会しが」の事務局を置く) ・「地域交流会活動」始める(第1回:親子パン作り)(12月)
2015年	春 秋	・「ミーティングルーム(相談室)」開設する ・「日本語交流教室『たんぽぽ』あづち教室」とつながる ・次第に地域交流活動が「多文化共生・地域交流活動」へ (「パステウを作ろう」・「チヂミを作ろう」・「巻きずし交流」他)
2016年	春 秋	・「かんちゃん通信」創刊号発行 ・「修復的対話(RJ)講座」始める(SSWしが) ・「学習サポート教室」を開設 ・地域のフェスタ等で「模擬店の出店活動」 ・フィールドワークや高校生の体験実習を受け入れる

つながる

「自分らしくそして安心できる“居場所”への道のり・・・」

2016年	秋	・「多文化共生・地域交流活動」が縁創造センター「子ども食堂モデル事業」(愛称・かんちゃんホットルーム)に ・近江八幡市社会福祉協議会・滋賀県社会福祉協議会とつながる
2017年	冬 春	・かんちゃんの小さな家「ホームページ」開設 ・かんちゃんの小さな家「友の会」を組織(会員を呼びかける) ・学生ボランティア・大学の演習(実習)の受入れ・保護者スタッフ活躍 ・滋賀県国際協会とつながる・国際交流推進協議会(団体部会)に入会
2018年	冬 春 夏 秋	・「新春夢談義」:「かんちゃんの小さな家」から「これからの安土」をテーマに意見発表 ・安土学区まちづくり協議会(地域福祉部会、のち人権・共生部会)と事業を通して連携 ・安土学区民生委員・児童委員協議会が「友の会」の団体会員に ・「多文化共生フェスタ in あづち」初開催(まちづくり協議会と共同開催) ・「子育てミーティング」開催

かんちゃんの小さな家で大切にしている
5つの輪

ホット
ルーム

相談
ルーム

子育てミ
ーティング

学習
サポート

SSW研究
会しが



ポリビアのピーナツスープ
～皮をむいたり野菜を切ったり
しました～(2018年)



ネパールのサモサ、
生地を伸ばしています
(2019年)

「発信」・ふり返る

「出会えなくてもつながれる」



・・・コロナ禍のさまざまな「工夫」・新たなであい

2019年	春	・「かんちゃん通信」5周年記念号（第13号）発行（1700部） 特集「かんちゃんの小さな家（の活動）を色で表すと」 ・「かんちゃん通信」特別号を全戸配布する ・「かんちゃんの小さな家」の活動を発信する VCC:日本ボランティアコーディネーター研究集会（京都） DEAR:開発教育協会セミナー（東京）
2020年	春 夏 秋	・新型コロナ禍中で「かんちゃんホットルーム」3～6月は休止 その間「ホットルーム通信・号外」発行 みんなの思いを交流 ・コロナ禍 工夫して活動を展開（7月再開） 「居場所」・テイクアウト方式 食文化の交流は見あわせる ・「ホットルーム」の参加者 のべ約1,800人に（10月） ・この年、「かんちゃんの小さな家」の活動が紹介される 「わたしたちのSDGs」（近江八幡市）／社会福祉法人グロー SHIGA-FUKU 実践者インタビュー／「じんけん」（公財）滋賀県人権センター
2021年	冬 春 秋	・「かんちゃんの小さな家」の活動が人権啓発DVD「コロナ禍でもがんばる地域からの発信」に（県内の市町等に配布される） ・「学習サポート」活動 6年目に入る・・・小学生・中学生、4月から高校生加わる、訪問型サポート（アウトリーチ） ・不登校・ひきこもりの子ども・若者の支援を模索 「居場所」・サードスペース・・・ニーズをとおして試行 ・「かんちゃんホットルーム」は「安土小学校（近江八幡市）放課後子ども事業」を兼ねて実施

つむぐ

“居場所”・・・心がつながりあえる“フィールド”をめざして

2022年 ～2023年	・2022年～ ・居場所・子どもの支援活動が多様な形態（オーダーメイド）に かんちゃん相談ルーム・学習サポート・ホットルームの結びつき ・フリースクールとしての位置づけ（学校と連携）／夏休みかんちゃん塾（個別のサポート）／訪問型サポート（アウトリーチ）の継続
	2023年 ・第4回多文化共生フェスタ（2年ぶりに開催）（3月） ・「かんちゃん通信」第20号発行（4月） ・「かんちゃんホットルーム」の出前活動：夏休み子ども多文化クラブ（彦根市）（7月） ・「かんちゃんホットルーム」のお昼はテイクアウト、居場所としての活動を継続中・・・ 7月で70回目を開催、学区の民生・児童委員さんの協力（ボランティアスタッフ） ・「スクールソーシャルワーク研修会しが」主催の子ども支援（ケース）学習会・・・ 7月で第62回学習会を開催



作ったよ！個性豊かなお面たち（2020年）



あそび村・人気の釣りっこゲーム（2021年）



たまごパックでマンカラカラハのホードを作って遊んだよ♪（2021年）



消しゴムはんこ・作って♪押して♪（パート4）（2022年）

相談ルームのご案内

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてください！

相談スタッフ

かんちゃん（かんちゃんの小さな家代表
・スクールソーシャルワーカー）
まりこさん（親子をつなぐ学びのスペース
・リレイト代表：京都市）

10月18日（水） 9:00～17:00

11月11日（土） 13:00～17:30

- ◇定例日以外は、個別に相談に応じます。
- ◇保護者・支援の方の相談も可（要予約）
- ◇事前のお問い合わせ先（かんちゃんの
小さな家携帯090-3708-3315）

学びのご案内

スクールソーシャルワーク研究会しが主催

子ども支援(ケース)学習会

第64回学習会 11月11日（土）

第65回学習会 1月8日（土）

（いずれも会場・時間は同じです）

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00～12:00

◇事前の申し込みが必要です



「かんちゃんの小さな家 友の会」

入会 よろしくお願ひします

個人会員 1口2,500円・団体会員 1口10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座

振込先銀行 滋賀銀行 安土支店

口座種別 普通 口座番号 403489

口座名称 かんちゃんの小さな家

代表 佐子 完十郎

※次号「第22号」は、2月の発行予定です！

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

<https://kancyan-house.com/>

交流会のご案内

第72回かんちゃん
ホットルーム

10月21日（土）

10:30～12:15

会場 安土コミュニティセンター

参加費：子ども100円・おとな300円

◇「ブラジルの文化を体験しよう♪」

・ブラジルのクイズにチャレンジだ

・ポルトガル語で話してみよう

・サンバのリズムを身体で感じてみよう♪

◇ゲスト：国際交流グループ“カリーニョ”
の皆さん（湖南市）

第73回かんちゃんホットルーム

11月18日（土）

10:30～12:15

会場 安土コミュニティセンター

◇ワークショップ

手作りスタンプでマイバックを作ろう（予定）
～消しゴムはんこ 作って押して♪～

◇コーディネーター 伊藤真希さん（長浜市）



せせらぎ（編集後記）

◇「かんちゃんの小さな家」を立ちあげて、この秋で10年目に。この間をふり振り返り、大きな流れを追って“あゆみ”に整理してみました。◇この機会に、皆さまからのメッセージ・アドバイスを！ぜひ、よろしくお願いします！皆さまからの「アドバイス」をもとに、「かんちゃんの小さな家」で培ってきた＜つながり＞やく課題（これからすべきこと）＞等を、より深めていきたいと思ひます。◇実に、たくさんの子もたちの顔や出来事が浮かんできます。今年になって、当時、「かんちゃんホットルーム」に来ていた子どもが、久しぶりにやってきました。「聞いてほしいことがあるんだけど」と・・・。「居場所とは何か？」「つながりとは何か？」、改めて教えられる毎日です。（か）



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315（代表 佐子）FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

